

(二) 土 地

1. 地 勢

本縣は略本州の中央部に位し、四圍何れも他縣に接し全く海岸線はない。

東北部には飛驒山脈白山(2,207.2m)等が重疊し、西部には美濃西部山地と伊吹山脈(伊吹山1,377.4m)更にその南方關ヶ原溪谷を隔て、鈴鹿山脈が聳立している。南部は所謂濃尾平野で第三紀より第四紀に亘つて地塊運動の結果形成せられた土地であつて、西は養老山脈より、東猿投山(629m)、北は濃飛高原より南は伊勢海に續いて方形をなしている。而してこの平野を貫流するものが木曾、長良、揖斐の三大河である。

木曾川は信州鳥居峠(1,197m)附近に源を發して惠那郡坂下町邊で本縣に入り中津川より西に向つて濃尾平野を貫流し伊勢海に注いでいるが、その山地を通過する所では300米にも及ぶ峡谷を形成し夙に世間に知られた惠那峽、日本ライン等の絶景を現出している。

長良川は大日嶽(1,658m)に源を發し、郡上郡八幡町に至り美濃飛驒坂本峠(987m)附近より發した古田川に合して郡上川となり、古生層の山地を迂回しつつ峡谷を出で山縣郡保戸島附近において武儀川、津保川の二川と合流しそれより岐阜市に至つて南流している。

揖斐川は伊吹山の北端三國ヶ嶽(815m)、權現山(1,158m)附近より發して古生層の山地を南東に流れつつ廣瀬川と合して揖斐郡揖斐町の邊から濃尾平野に出て更に養老山脈の東麓を走り油島では一旦木曾川を合して伊勢海に入つている。

飛驒では、乗鞍山の南麓に發源して小坂川、輪川を入れ更に南下して太田町の東方で木曾川に合する益田川と矢張り乗鞍山(3,026.3m)の北麓に發源して平湯の大瀧を懸けつつ中山附近で双六谷の神秘境を作り吉城郡船津町の脚下を流れ行く高原川とがその代表河川である。

2. 本 縣 の 位 置

		經 度	場 所			緯 度	場 所
極 極 縣	東	東經 137.38	吉城郡上賣村	極 極	南	北緯 35.08	海津郡大江村
	西	東經 136.17	揖斐郡坂内村		北	北緯 36.27	吉城郡船津町
	應	東經 136.45	北緯 35.25 岐阜市司町一				

3. 郡 市 町 村 別 面 積

(昭和23年末)

郡 市 別	面 積	郡 別	面 積	町 村 別	面 積	町 村 別	面 積
岐阜市	70.68	山 縣 郡	212.20	鏡市 鳥 村	3.75	方 縣 村	14.81
大垣市	46.67	武 儀 郡	742.92	市 橋 江 村	4.75	稻 葉 郡 計	144.51
高山市	75.83	郡 上 郡	1,055.83	日 置 波 村	3.79		
多治見市	54.48	加 可 郡	612.56	佐 鷗 部 村	5.23	川 中 村	8.10
稲葉郡	144.51	土 岐 郡	166.23	厚 那 更 前 村	3.49	上 下 八 村	4.84
羽津郡	87.11	土 岐 郡	296.15	西 加 木 宮 村	5.74	羽 栗 村	3.64
海津郡	99.37	土 岐 郡	1,150.73	厚 那 更 前 村	14.10	上 下 八 村	4.18
養老郡	206.95	益 田 郡	1,071.07	更 前 村	3.49	笠 柳 村	4.02
不破郡	125.95	益 田 郡	1,531.05	前 村	5.69	笠 柳 村	1.62
安八郡	77.12	大 野 郡	1,355.51	各 務 原 町	21.72	柳 松 村	2.82
本巢郡	876.38	吉 城 郡	1,494.70	務 原 町	17.94	足 近 村	4.46
	435.40	計		岩 見 村	11.94	小 近 村	3.99
				芥 見 村	4.43	福 壽 村	5.31
				野 村	12.54	竹 鼻 村	3.35
					7.71	竹 鼻 村	5.38